Berlin Report

November 2019

CONTENTS

* Project 1: Kioski / food stand

* Project 2: The urban dentist / dental clinic

1. Kioski

Project Overview

近年、注目されているモジュラー建築。パーツを組み立てていく形のため、建てる時間がかからず、場所も取らず、組み合わせていけば大きさも簡単に変えられる。
1967 年、スロベニアで開発され、旧東欧諸国で大人気となった組み立て式のモジュール建築「K67」も、そんなグッドデザインの一つだ。いくつかのパーツをつなげれば完成するボックス型のモジュールは、新聞や雑誌を売るキオスクなどに頻用され、チケット販売のスタンドや交番、また連結してスポーツスタジアムのレポーターが入るキャビンなどとしても使われていたという。1967 年から製造停止した 1999 年までの間に 7500 個が作られ、現在はニューヨークの MoMA の「20 世紀デザイン」コレクションにも収蔵されているほどである。
昨年、ベルリンにも小さなコーヒースタンド、「Kioski」として登場して、話題を呼んでいる。
ベルリン発の眼鏡ブランド「Mykita」のビルの中庭に設置されたこのモジュール建築。当時のオリジナルカラーの強いイエローに塗装しなおした。内部はインテリアを一新し、調理器具なども置いて、かなりの小さなスペースながら、中でオーブン焼きなどの調理も可能な、モダンなカフェスタンドへと蘇らせた。下にキャスターをつけて、可動式にする案もあったが、水洗施設が外付けのためできなかったというが、それ以外は完璧！とオーナーの弁。
1970 年代らしい曲線のデザインもかわいく、人目を引く。これからますます人気が出そうだ。

Project Details

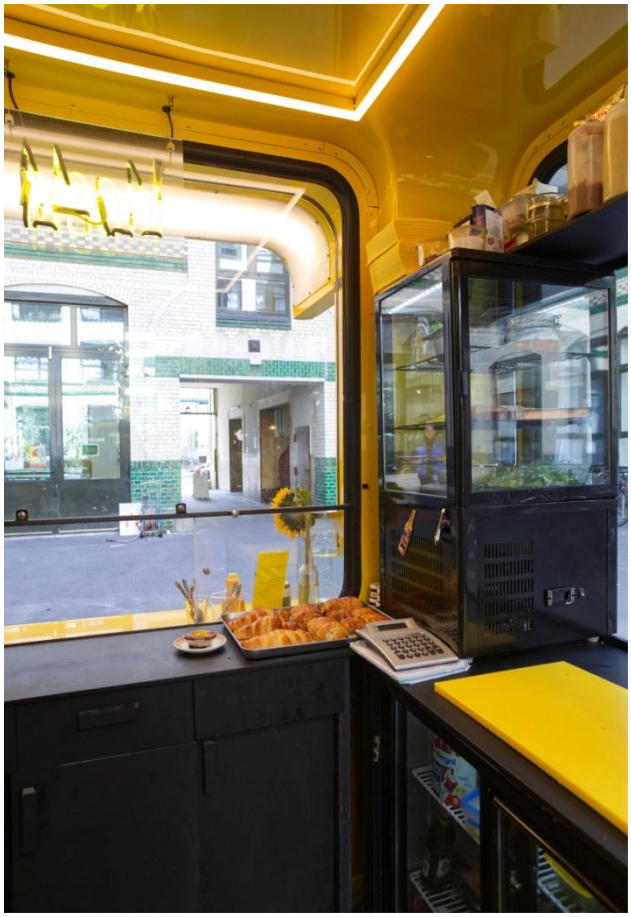
1. Type of Business : food stand
2. Open Date: 01/09/2018
3. Location: Ritterstrasse 9, 10969 Berlin
4. Size: 256.5x 240 x 240 cm
5. Architect / Interiordesign : Saša Janez Mächtig / about space, Taro Gragnato

Location Map

「Mykita」のビルの、グリーンのモザイクタイルに映える、強いイエロー。

「Mykita」が入っているビルは、1905 年に金属工場として新古典主義建築で建てられた。

排水のための設備が外付けされており、それを目隠しするように、右側に花壇と小さな着席スペースを作っている。



小さなオーブン、冷蔵庫や保温庫なども完備したシステムキッチンのよう。
外からも見える部分なので、黒で統一し、ゴミ箱が入っている部分は
ドアで目隠ししている。

K 67 はいくつかのパーツで成り立っており、壁やひさし、ドア、
窓などのパーツは自由に変え、組み合わせることができた。
このひさしはユーモラスな形を印象付けるアクセントになっている。

周囲には木箱に入ったグリーンを並べて、ケーブルやパイプの目隠しに。夏場はオープンエアーパーティなども数多く行われる。

2. The Urban Dentist

Project Overview

初めてここに足を踏み入れた人は、これが歯医者？と驚くかもしれない。ベルリン、ワルシャワ通り駅。クラブやレストランが集まる人気スポットであり、また電車や路面電車、バスなどいくつもの路線が交錯する大通りの真上という立地。デザインを担当した「Studio Karhard」は、依頼があった際に、このロケーションからイメージを膨らませたという。そして、打ちっぱなしのコンクリートやむき出しのダクトなどを生かした「ザ・アーバン・デンティスト」のインテリアが完成した。

まず入り口で目に入るカウンターには、黒をベースにピンク、コーポレートカラーのグリーンを組み合わせたテラゾ（人造大理石）を用いて、エレガントに。空間自体がラフな雰囲気なので、テラゾ、ブラス（真鍮）の目隠し壁、棚、ベロアのソファなど、家具にはあえて高級感のある素材を用いた。形もアシンメトリーな六角形で、天井のランプやソファの円や、診療室の三角形のライトなどとともに、独特のリズムを作っている。

個々の診療室と待合室を分ける部分には、バックライト付きのアクリルパネルを使うなど、ベルリンのクラブやバーなどのナイトシーンのインテリアを数多く手掛けている「Studio Karhard」らしさも。

クリニックらしいクリーンなイメージは保ちながらも、明るいピンクが基調になっているためか冷たい印象を受けないのも、特筆すべき点だ。インテリアデザイン誌「FRAME」主催のインテリアデザイン賞、FRAME AWARDS 受賞。

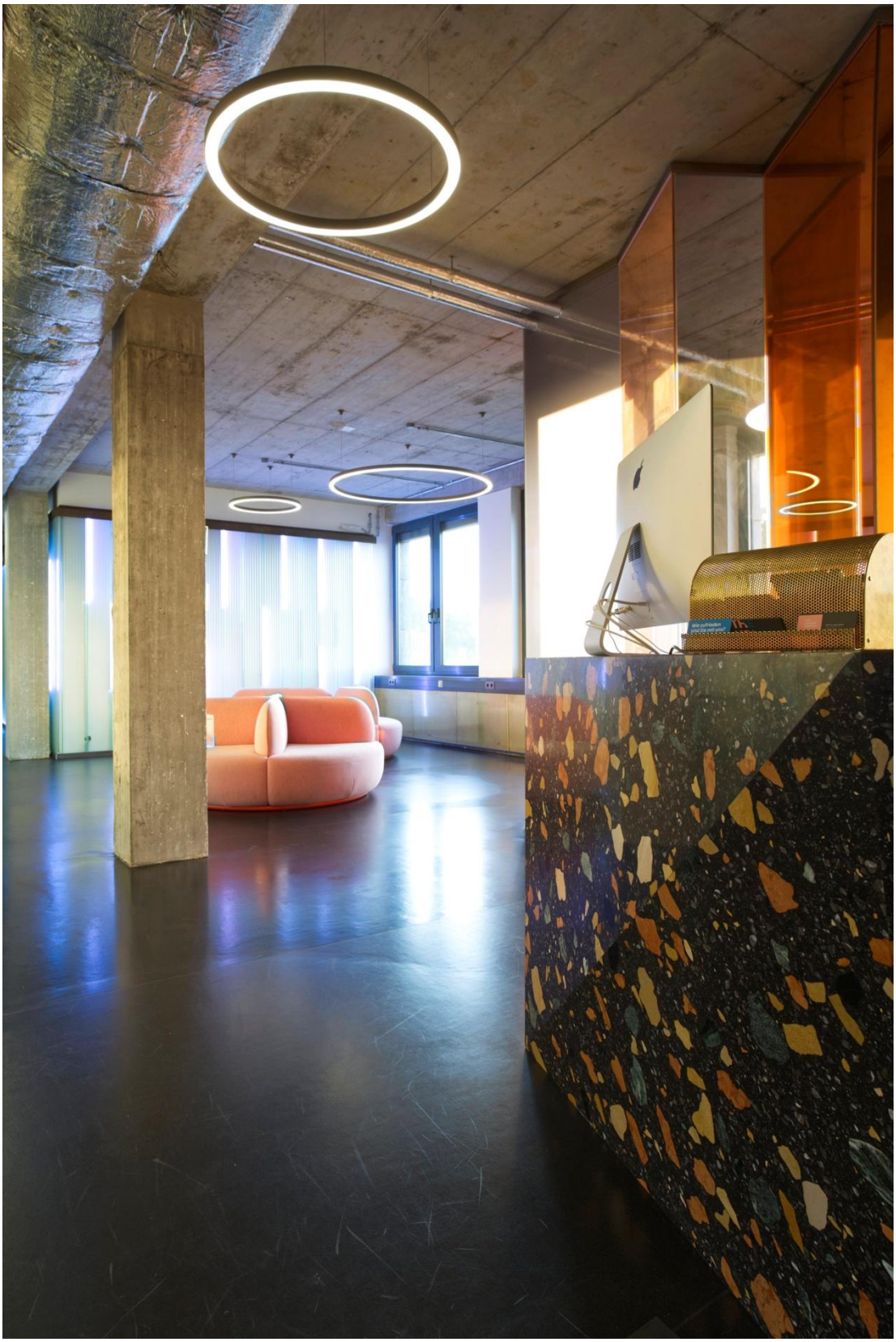
Project Details

1. Type of Business : Dental Clinic
2. Open Date: 31/05/2018
3. Location: Warschauer Strasse 32, 10243 Berlin
4. Size: 360 m2
5. Architects: studio karhard

Location Map

東向きの窓から明るい光が差し込む待合室。左側のコーヒースペース、洋服かけなどの棚、そして窓の下の暖房機の目隠しには、パンチングメタル板を使用。ブラスのゴールドが、空間に温かみを加えている。

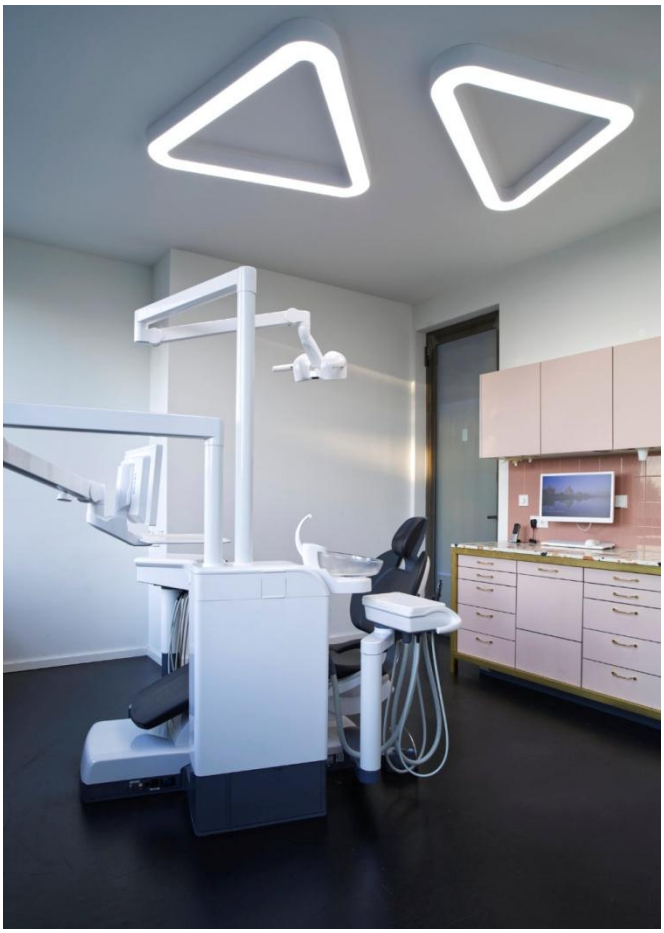
ユニークな形のタイルや壁のイラストがアクセントになったトイレ。



クリニックのロゴなど、コーポレートカラーに使われているグリーンとピンクを用いたテラゾ（人造大理石）の不定形のカウンター。

細々としたレジや計算機はブラスの目隠しの背後に。スタッフルームはピンクゴールドのハーフミラーの壁で、優しく仕切る。

窓を閉めると、バックライトの壁がクラブのようだ。



診察室の天井は、最も患者がよく目にするところなので

三角などちょっと変わった形のランプを採用。

診察室の家具も入り口カウンターと同じ、

ただし地色がホワイトのテラゾを使用